

① ほうれんそう

【主な仕事内容】 ○播種準備 ○収穫
○出荷調整

内 勝史

住所：鹿児島市川上町

農業経営体の概要

(こだわり・理念) お互いの利益 (Win-Win) の関係づくりを目指して

- 経営面積 約100a
施設：ほうれんそう, トマト, ナス等
露地：たまねぎ, 根深ねぎ, にがうり等
- 労働力
家族労力3名
障害者：就労継続支援B型利用者(精神障害者)
支援員を含めて4～8名(週3回×2時間)
- 施設・機械
ハウス(KP, KPH, 中期展張) 5,700㎡, トラクター,
管理機, 耕運機, 軽トラック, 軽バン, 予冷庫
- 販売先
生協コープかごしま



農福連携を始めたきっかけ

- 数年前に物産館を運営する福祉事業所の方々と話をする中で連携ができればとの話があった。
- 令和3年4月～12月の週2回, お試しで障害者3～4名を受け入れ。
- お互いが利益を実感し, 連携協定を締結。令和4年度から正式に作業依頼。

障害のある人が担う主な仕事内容

- ほ場準備：施肥, ビニール張り等
- 収穫：収穫, 運搬, 調整作業
- 出荷調整：計量・袋詰め(今後予定)

農福連携に取り組んで良かったこと

- 障害者の働きやすい環境の整備, 作業の段取りを考えるようになった。
- 両親が高齢化する中, 労働力不足の解消, 労働作業の軽減に繋がった。
- ハウスのビニール張り, 作付け準備, 収穫調整作業等は障害者と一緒に作業し, 一斉に進めることができ, 作業能率が向上した。
- 福祉事業所, 障害者にも喜んでもらっている。



【障害のある人が作業する際のポイント】

ほうれんそうの播種準備・収穫 出荷調整等

(作業内容：播種準備、収穫、選別・調整、運搬)



1 播種準備作業



堆肥の運搬・散布作業。ハウスの入り口からハウス内へ一輪車で運搬・散布の作業。障害者と施設支援員が組作業で実施。

【ポイント】

作業前に実演し、注意点を説明。体力に自信のある人や、動くことが好きな人に依頼。運搬後、支援員の指示により、均一に散布してもらう。

2 収穫作業



障害者と施設支援員が組作業で実施。

【ポイント】

作業前に注意点を説明、実演。生育不良株を残し、地際からハサミで切り取り収穫する。

3 選別・調整作業



障害者と施設支援員又は経営主が組作業で実施。収穫後の切口を調整し、枯葉・汚れた下葉を取るなどの調整作業。

【ポイント】

作業前に実演し、注意点を説明。運搬、移動時間にロスがないようにハウス入口に簡易作業場を設置（寒い日はハウス内、暑い日は外で木陰等の環境考慮）

4 運搬作業



収穫・調整したほうれんそうの運搬作業。台車又は一輪車等を利用して調整作業場や軽トラックまで運搬。

【ポイント】

作業前に実演。運搬作業、動くことが好きな人に依頼し、丁寧に運んでもらう。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 袋詰め作業は、丁寧さが必要であるため、現在は経営主が行っているが、今後は、作業に慣れた障害者の方々へ依頼する予定。
- ・ その他、作業人数に応じた作業準備と障害者の特性に応じた作業分担を考慮して行っています。